



共 育

今年も、学校の玄関にツバメが巣作りを始めました。陽差しはもう夏を感じさせるようになってきています。運動会ではたくさんの保護者の方や地域の方にお越しいただき、子どもたちの頑張る様子に温かいご声援をいただきました。ありがとうございました。

さて、羽咋市の小中学校では、市が示した「羽咋教育ビジョン」に基づき、それぞれの学校で、今年度、特に力を入れて取り組む内容を決め、1年間の教育活動を行っていきます。4月24日のPTA総会の折にも簡単にご説明いたしましたが、校長室だより『共育』を通してさらに詳しく、そして多くのご家族の皆様にご覧いただきたいと考え、本号から4回にわたって、今現在、瑞穂小学校で力を入れている取り組みをご紹介します。

項目は以下の4つです。

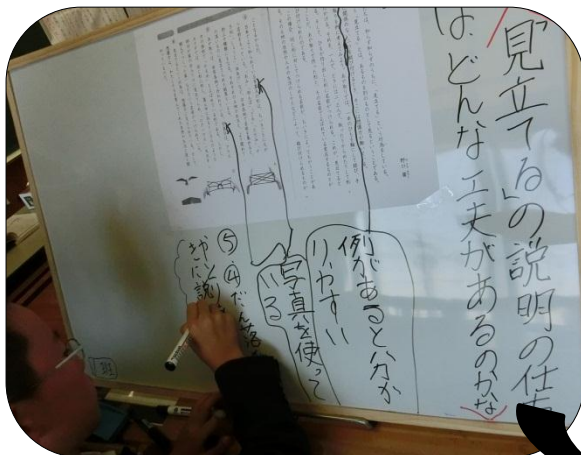
- (1)「確かな学力を育てるために」
- (2)「豊かな心を育てるために」
- (3)「健やかな体を育てるために」
- (4)「幼稚園・保育園・中学校との連携と教職員の人材育成」

今回は、「確かな学力を育てるために」について掲載します。

(1)「確かな学力を育てるために」

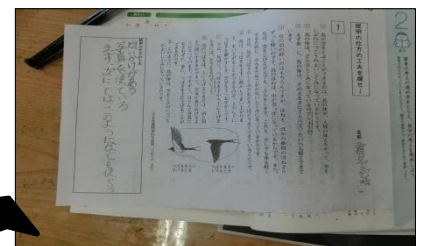
- ① 児童が授業に積極的に取り組めるように、これまでに学んだことを活かす場面を用意し、学びを役立てる経験を積ませます。

勉強したことを活か
せると授業が楽
しくなるね！！



＜実践のひとつ 5年生 国語＞

説明文の学習で、考えを伝えるために、筆者がどのような工夫をしているかを見つけました。工夫点を矢印で示したり吹き出しにまとめたりする書き方は、4年生で身につけた方法を活用しています。また、ここで学習したことを、今度は別の文章でも活かし、筆者が分かりやすく伝えるために工夫しているところを見つけました。



- ② 授業の中に話し合う場面を設け、児童が理解を深めたり、いろいろな考え方に会い、自分の考えを広めたりできるようにします。



＜実践のひとつ 3年生 理科＞

モンシロチョウの幼虫とさなぎの特徴について、自分の考えを友だちに説明しています。学習の途中、話し合いが役に立ったかと教師が聞くと、ほとんどの児童が話し合いのよさを実感しているようでした。

- ③ 課題を解決するために役立つ知識を、「学びあいノート」に書きとめ、学習の場面だけでなく、いろいろな場面でそのノートを使う意識を持たせます。

＜実践のひとつ 6年生 国語＞

説明文を読んで筆者の一番伝えたいことを見つけ、筆者の考え方に対して自分はどうかを文章にまとめる授業です。「学びあいノート」に貼った『言葉のポケット』から、参考にしたい言葉を使って考えをまとめています。この学びあいノートは学習の時以外でも活用します。



学びあいノート

- ④ 相づちを打って話を聴く習慣をつけることで、話者と聴者のコミュニケーションを図ります。



＜実践のひとつ 4年生 算数＞

班ごとに、わり算の筆算の間違を見つけ、どこが間違っているか、どのように直せばいいかを学級全体に説明しています。

人前で話すことは大人でも勇気がいるものですが、クラスの友だちの相づちが助けとなって、安心して考えを発表できる雰囲気を作られていきます。